

城西大学研究年報 既刊総目次

城西大学教養関係紀要 第1巻 (1977年3月)

| | |
|---|---------|
| 新大陸文化史の諸問題 一特にコロンブス期文化を中心として一 | 貞 未 堯 司 |
| 首都圏の都市成長前線帯外縁部における商業地域の形成 一埼玉県越生町の1883年～1902年の変容をめぐって一 | 田 村 正 夫 |
| Visuddimagga 源泉資料年代論 | 森 祖 道 |
| アンドレ・マルロー総合年譜(I) | 堀 田 郷 弘 |
| 『ペリクリイーズ』の時の風光—一つの解釈— | 戸 所 宏 之 |
| 日本における初期の気象組織の形成 | 鯉 沼 寛 一 |
| 本学体力測定結果の一考察 | 横 内 靖 典 |
| バレーボールにおけるスパイクの研究 | 明 石 正 和 |
| 体力増進および維持に関する諸問題についての一考察 | 畠 山 栄 子 |
| 《基礎づけ》の序文 | 山 口 勲 |
| 父の終焉日記と観無量寿経の世界 | 黄 色 瑞 華 |

第2巻 (1978年3月)

| | |
|--|-----------|
| ラテン=アメリカにおける考古学上の諸問題 | 貞 未 堯 司 |
| 首都圏の都市成長前線帯における商業地域の形成 一飯能市の1880～1890年の変容をめぐって一 | 田 村 正 夫 |
| 『サマンタバーサーディカー』の「阿闍梨相承」 | 森 祖 道 |
| アンドレ・マルロー総合年譜(II) | 堀 田 郷 弘 |
| 言語論哲学の基礎を求めて 一ヴィトゲンシュタイン研究(I) | 山 口 勲 |
| T. S. エリオットの本質(上) 一詩人・批評家・劇作家— | 鮫 島 久 男 |
| 『ヴェロオナの二紳士』の黙示 一デュウリアの変装をめぐって— | 戸 所 宏 之 |
| 大腸菌における集団密度並びに遺伝子頻度の適応度に及ぼす影響 | 小 須 田 和 彦 |
| 足関節捻挫を防止する TAPING の役割 | 武 藤 幸 政 |
| バレーボール選手の体力に関する研究 一(第一報 全日本高校選抜男子選手の体力について)— | 明 石 正 和 |
| 身体運動としての一輪車乗用について 一学習過程における練習効果について— | 畠 山 栄 子 |
| 本学の体力測定結果の一考察 | 永 都 久 典 |

「門松立てず、煤はかず」考……………黄色瑞華

第5巻 (1981年3月)

アッタカターにおける Porānā ……………森 祖 道
『ヴェローナの二紳士』の素材と構造……………小 野 昌
T. S. エリオットの本質(中) —詩人・批評家・劇作家として— ……………鮫 島 久 男
**THE DEVELOPMENT OF THE COGNITIVE
CODE-LEARNING THEORY**
—Trends in Language Methodology in the United States— ……田 村 文 子
秋の映像 —キーツの『秋に寄せて』— (一)……………永 井 豊 実
R. ニャナデシカンの一般化主成分分析について ……………新 井 宏 尚
住居構造・形態と居住者のパーソナリティとの関係
—特に YG 検査, MAS などとの関連について—……………駒 崎 勉
クロショウジョウバエにおける生存力に及ぼす近交の効果……………小須田 和 彦
Drosophila virilis の酸ホスファターゼ・アロザイムの遺伝生化学的研究(1)
—精製と性質—……………成 瀬 澄 子
膝関節の Injuries と Taping について……………武 藤 幸 政
本学学生の体力測定結果の一考察 —第3報—……………横 内 靖 典
明 石 正 和
斉 藤 保 夫
畠 山 栄 子
武 藤 幸 政
永 都 久 典
『ひとり言』から「俳諧小言」へ……………黄色瑞華

第6巻 (1982年3月)

A. Pope のテムズ川観……………石 川 郁 二
The Study of “The Bastard” by Erskine Caldwell (I)……………金 勝 久
『Ode to a Nightingale』—考察 —歌声に耳を澄ます時—……………永 井 豊 実
T. S. エリオットの本質(下の1) —詩人・批評家・劇作家として—……………鮫 島 久 男
FRÜHNEUHOCHDEUTSCH UND BUCHDRUCKERKUNST
II. Die Antinomie ‚geschriecen↔gesprochen’……………藤 井 明 彦
アンドレ・マルロー総合年譜(Ⅲ)……………堀 田 郷 弘
Lecture de Gaston Bachelard et sa Conscience de Soi……………越坂部 則 道

| | |
|---|--|
| キイロショウジョウバエの雄の交尾に関する遺伝的変異…………… | 小須田 和 彦 |
| <i>Drosophila virilis</i> の酸性ホスファターゼ・アロザイムの遺伝生化学的 | |
| 研究2 —アロザイム活性の系統内変異—…………… | 成 瀬 澄 子 寺 田 理 枝 |
| 本学運動競技選手の最大酸素摂取量…………… | 明 石 正 和 永 都 久 典 横 内 靖 典 斉 藤 保 夫 |
| 一輪車走行時の作業強度の研究…………… | 永 都 久 典 横 内 靖 典 斉 藤 保 夫 明 石 正 和 武 藤 幸 政 畠 山 栄 子 |
| 本学学生の体力測定結果の一考察 —第4報—…………… | 横 内 靖 典 明 石 正 和 斉 藤 保 夫 畠 山 栄 子 武 藤 幸 政 永 都 久 典 |
| アンドレ・ジッドの方法V —生命の美学『イザベル』をめぐって—…………… | 陶 山 曠 |

第7巻 (1983年3月)

| | |
|---|--|
| T.S. エリオットの本質 (VI) —詩人・批評家・劇作家として—…………… | 鮫 島 久 男 |
| The Development of Community Language Learning, The Silent Way and Suggestopedia in Comparison with Other Methods —Trends in Language Methodology in the United States—…Fumiko Tamura | |
| キーツとワーズワース —手紙におけるワーズワース—…………… | 永 井 豊 実 |
| 本学学生の体力測定結果の一考察 —第5報—…………… | 横 内 靖 典 明 石 正 和 斉 藤 保 夫 畠 山 栄 子 武 藤 幸 政 永 都 久 典 |
| 循環機能に関する研究 —一般学生の検査による実態 (第1報)— …… | 畠 山 栄 子 横 内 靖 典 |
| メラノコリアとアマツオーネ(1)…………… | 河 内 信 弘 |

第8巻 (1984年3月)

| | |
|--|---------------|
| Aspects of the Acquisition of English —The Four Skills— | Fumiko Tamura |
| バレーボールのスパイク動作に関する研究..... | 明石正和 永都久典 |
| 高校生の各年代別各種スポーツ別筋力測定について —等速性筋緊張について—..... | 武藤幸政 |
| メラニコリアとアマツォーネ(II)..... | 河内信弘 |

第9巻 (1985年3月)

| | |
|---|--|
| [研究ノート] 世界史教科書にみる中世とルネサンスの記述について —暗黒の中世とルネサンスの春と—..... | 小野昌 |
| 漱石の『文学論』における科学の意味について..... | 立花太郎 |
| バレーボール選手の体力に関する研究 —女子ユニバーシアード候補選手の体力について—..... | 明石正和 |
| 地域社会における余暇志向についての一考察 —坂戸市について—..... | 永都久典 斉藤保夫 武藤幸政 横内靖典 明石正和 島山栄子 |
| ストレッチングの筋電図学的研究..... | 武藤幸政 |

第10巻 (1986年3月)

| | |
|--|--------------|
| キイロシヨウジヨウバエの雄の交尾能力に関する遺伝的変異 II. 加齢効果..... | 小須田和彦 |
| リュウコ体の色素増感光酸化反応 I. リュウコウラニンのメチレンブルーおよびローズベンガル 増感剤による光酸化反応..... | 勝呂宏 堀合公威 |
| クロシヨウジヨウバエグリセロールリン酸脱水素酵素アロザイムの遺 伝生化学的研究 3. 生化学的比較..... | 富永浩子 成瀬澄子 |

| | |
|-----------------------------|--|
| 本学学生の体力測定結果の一考察 ——第6報 | 武藤幸政 斎藤保夫 横内靖典 明石正和 嶋山栄子 永都久典 |
| 運動選手の STRETCHING についての基礎的研究 | 永都久典 横内靖典 |
| 中高年におけるストレッチングの事例的研究 | 横内靖典 |

第11巻 (1987年3月)

| | |
|---|----------------------|
| リュウコ体の色素増感光酸化反応 | |
| Ⅱ. リュウコウラニンのスミアクリルブルー増感剤による 光増感光酸化反応 | 勝呂宏 堀合公威 |
| HPLC を用いたショウジョウバエの酸性ホスファターゼアロザイム 精製の改良法 | 富永浩子 成瀬澄子 |
| 中高年における健康運動の事例的研究 —第二報— (健康運動と体力の関連について) | 永都久典 横内靖典 佐藤幹夫 |
| 循環機能に関する研究 — (第2報) 一般学生の検査による実態 | 嶋山栄子 |

第12巻 (1988年3月)

| | |
|--|------|
| 日本における大学生の生活行動と意識構造 —特に専攻系列別比較を中心として— | 駒崎勉 |
| ニーチェにおける高さへの志向 | 河内信弘 |
| 北信における一茶社中の形成 | 黄色瑞華 |

第13巻 (1989年3月)

| | |
|---------------------------------|-----------|
| Ariyavaṃsa and Ariyavaṃsa-kathā | Sodō Mori |
|---------------------------------|-----------|

〔翻 訳〕

ローラント・フライモント著

グスタフ・フライタークに与えたチャールズ・ディケンズの影響(1)……鈴木 敏 雄

〔研究ノート〕

嘉永版『俳諧一茶発句集』入集の句(1)……黄色 瑞 華

第14巻 (1990年3月)

〔翻 訳〕

ローラント・フライモント著

グスタフ・フライタークに与えたチャールズ・ディケンズの影響(2)……鈴木 敏 夫

〔研究ノート〕

嘉永版『俳諧一茶発句集』入集の句(2)……黄色 瑞 華